



2022年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月9日

上場会社名 富士精工株式会社

上場取引所 名

コード番号 6142 URL <http://www.c-max.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 龍城

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 近藤 規央

TEL 0565-53-6611

四半期報告書提出予定日 2021年7月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	5,030	11.8	129	0.6	317	48.3	177	53.3
2021年2月期第1四半期	4,497	21.9	130	69.3	214	57.2	116	62.9

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 710百万円 (%) 2021年2月期第1四半期 463百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	48.51	
2021年2月期第1四半期	31.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第1四半期	26,945	21,408	71.0	5,217.96
2021年2月期	25,665	20,741	72.4	5,069.80

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 19,136百万円 2021年2月期 18,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		25.00		15.00	40.00
2022年2月期					
2022年2月期(予想)		15.00		20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	9,800	20.6	200		360		180	49.07
通期	20,080	15.7	690		910	838.9	500	136.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期1Q	4,306,778 株	2021年2月期	4,306,778 株
期末自己株式数	2022年2月期1Q	639,265 株	2021年2月期	639,105 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期1Q	3,667,583 株	2021年2月期1Q	3,667,926 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、前連結会計年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大により、当社グループの受注環境及び生産態勢は依然として不透明感が続いております。また、米中の貿易摩擦などによる先行きの不透明さは依然として継続している状況にあり、中国子会社をはじめとする当社グループの受注環境に影響を及ぼしております。

わが国経済におきましても、新型コロナウイルスの影響から一部の業種に持ち直しの兆しが見えるなど国内経済は緩やかに回復しつつあるもの、新型コロナウイルスの感染拡大前の水準には至っておりません。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、電動化の推進、自動運転や安全装備などの技術開発への投資は継続されるものの、半導体不足の影響により生産額の計画値に対して下振れリスクが懸念されるなど、先行きの不透明感が強まっている状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは工作機械の製造に実績のある志賀機械工業株式会社を新たな仲間として迎え、収益基盤の強化を図るべく新たな取り組みを開始しております。また、データとデジタル技術を活用し、新たなビジネススタイルを創造していくことを目的としたDX管理室を新設し、中期的な競争力の強化を狙った活動を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,030百万円（前年同四半期比11.8%増）、営業利益は129百万円（前年同四半期比0.6%減）、経常利益は317百万円（前年同四半期比48.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は177百万円（前年同四半期比53.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

当地域におきましては、足元の設備投資は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルスの感染拡大により落ち込んだ受注が、新型コロナウイルスの感染拡大前の水準に戻らず、売上高は2,251百万円（前年同四半期比4.6%減）となりました。

また、経費最小活動により売上原価や販売管理費を圧縮したものの、生産調整による固定費負担増などにより、セグメント損失は75百万円（前年同四半期は0百万円のセグメント損失）となりました。

②アジア

当地域におきましては、中国を中心に、新型コロナウイルスの感染拡大により失速していた自動車生産が回復し、売上高は1,524百万円（前年同四半期比26.1%増）となりました。

また、材料費や労務費が高騰しているものの、経費削減を進めたことなどにより、セグメント利益は88百万円（前年同四半期比114.7%増）となりました。

③北米・中米

当地域におきましては、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、個人消費を中心に需要が増加し、自動車産業界も一部供給が追い付かない状況となっており、国内生産が好調に推移したことから、売上高は675百万円（前年同四半期比41.8%増）となりました。

また、まとまった受注が入ることで生産性が向上し、セグメント利益は62百万円（前年同四半期比402.2%増）となりました。

④オセアニア

当地域におきましては、断熱材の需要が引き続き堅調に推移したことにより、売上高は422百万円（前年同四半期比34.8%増）となりました。

また、堅調な受注に支えられ利益を確保することとなり、セグメント利益は30百万円（前年同四半期比34.6%増）となりました。

⑤その他

当地域におきましては、売上高は155百万円（前年同四半期比11.8%増）、セグメント利益は13百万円（前年同四半期比71.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は26,945百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,280百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が524百万円減少したものの、有価証券が734百万円、土地が679百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は5,537百万円となり、前連結会計年度末と比較して613百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が213百万円、繰延税金負債が164百万円、賞与引当金が126百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は21,408百万円となり、前連結会計年度末と比較して666百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が316百万円、非支配株主持分が124百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は71.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2021年4月14日の「2021年2月期 決算短信」で公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,977,563	7,452,814
受取手形及び売掛金	3,325,792	3,170,631
電子記録債権	951,452	1,120,913
有価証券	461,684	1,196,660
商品及び製品	1,498,854	1,464,237
仕掛品	556,730	684,281
原材料及び貯蔵品	444,355	524,634
その他	495,759	546,043
貸倒引当金	△73,239	△78,042
流動資産合計	15,638,953	16,082,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,853,958	1,917,258
機械装置及び運搬具(純額)	4,262,487	4,196,550
土地	1,456,649	2,136,298
建設仮勘定	23,123	82,422
その他(純額)	236,003	226,503
有形固定資産合計	7,832,222	8,559,033
無形固定資産		
268,638		293,584
投資その他の資産		
投資有価証券	1,414,174	1,489,513
長期貸付金	4,599	4,672
繰延税金資産	348,519	326,515
その他	186,429	215,636
貸倒引当金	△28,174	△25,624
投資その他の資産合計	1,925,549	2,010,713
固定資産合計	10,026,410	10,863,331
資産合計	25,665,363	26,945,505

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,185,618	1,226,866
短期借入金	826,202	708,891
1年内返済予定の長期借入金	106,830	219,365
未払法人税等	46,015	135,197
賞与引当金	126,588	252,895
その他	1,530,194	1,339,479
流動負債合計	3,821,450	3,882,695
固定負債		
長期借入金	82,849	295,991
役員退職慰労引当金	—	40,320
繰延税金負債	—	164,343
退職給付に係る負債	848,894	979,571
その他	170,778	174,443
固定負債合計	1,102,522	1,654,669
負債合計	4,923,972	5,537,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,162,614	4,162,614
利益剰余金	13,334,986	13,481,365
自己株式	△918,349	△918,578
株主資本合計	19,461,267	19,607,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355,232	404,010
為替換算調整勘定	△412,070	△95,939
退職給付に係る調整累計額	△810,078	△778,567
その他の包括利益累計額合計	△866,917	△470,496
非支配株主持分	2,147,040	2,271,219
純資産合計	20,741,390	21,408,140
負債純資産合計	25,665,363	26,945,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	4,497,890	5,030,154
売上原価	3,463,900	3,902,201
売上総利益	1,033,989	1,127,952
販売費及び一般管理費	903,848	998,595
営業利益	130,141	129,357
営業外収益		
受取利息	12,104	8,821
受取配当金	5,614	5,456
持分法による投資利益	—	27,856
技術指導料	22,906	20,369
為替差益	12,126	98,017
その他	39,355	29,435
営業外収益合計	92,108	189,956
営業外費用		
支払利息	2,479	1,542
売上割引	137	39
持分法による投資損失	5,042	—
その他	384	61
営業外費用合計	8,044	1,644
経常利益	214,206	317,670
特別利益		
固定資産売却益	370	5
特別利益合計	370	5
特別損失		
固定資産除売却損	489	3,925
ゴルフ会員権評価損	—	293
特別損失合計	489	4,219
税金等調整前四半期純利益	214,086	313,456
法人税、住民税及び事業税	99,171	97,578
法人税等調整額	△16,829	△7,541
法人税等合計	82,341	90,036
四半期純利益	131,745	223,420
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,698	45,505
親会社株主に帰属する四半期純利益	116,047	177,914

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	131,745	223,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,637	48,777
為替換算調整勘定	△664,070	406,174
退職給付に係る調整額	49,349	30,826
持分法適用会社に対する持分相当額	2,804	1,148
その他の包括利益合計	△595,279	486,927
四半期包括利益	△463,533	710,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△341,898	574,335
非支配株主に係る四半期包括利益	△121,635	136,012

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(新型コロナウイルス感染症に関するその他の事項)

当社及び国内連結子会社は、新型コロナウイルス感染症の影響にともない、休業を実施したことにより支給した休業手当等について、雇用調整助成金の特例措置の適用を受け、助成金の支給見込額32,088千円を販売費及び一般管理費ならびに当期製造費用の給料手当から控除しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,359,550	1,208,900	476,843	313,671	4,358,965	138,924	4,497,890	—	4,497,890
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	327,704	165,662	784	—	494,150	3,607	497,757	△497,757	—
計	2,687,254	1,374,562	477,628	313,671	4,853,116	142,531	4,995,648	△497,757	4,497,890
セグメント利益又 は損失(△)	△230	41,297	12,508	22,600	76,175	8,011	84,186	45,955	130,141

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,251,686	1,524,318	675,992	422,895	4,874,891	155,262	5,030,154	—	5,030,154
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	440,693	175,232	—	—	615,925	4,597	620,522	△620,522	—
計	2,692,379	1,699,550	675,992	422,895	5,490,817	159,860	5,650,677	△620,522	5,030,154
セグメント利益又 は損失(△)	△75,022	88,665	62,819	30,421	106,883	13,695	120,579	8,778	129,357

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。